

岐阜公園内に、歴史資源と商業を調和させた 滞在型観光拠点「岐阜城楽市」を創出

未来にやさしい空間づくりを行う株式会社船場(本社：東京都港区、代表取締役社長：小田切潤)は、『岐阜』を嗜み、OMOTENASHI(おもてなし)を堪能する」をコンセプトに、岐阜公園「岐阜城楽市(ぎふじょうらくいち)」の総合コンサルティングなどを担当。創業より培ってきた賑わいづくりのノウハウを活かして、歴史資源と商業施設、まちを緩やかに繋ぎ、岐阜城の玄関口に相応しい、市民と観光客が交わり憩う観光拠点を創り上げました。



■交流・飲食・休憩など多様な活動が生まれる結節点を創出

岐阜公園は年間 100 万人が訪れる市内随一の観光拠点でありながら、周辺に商業機能や滞在場所が乏しく、来訪者の約 8 割は、1 時間未満で立ち去ってしまうという課題を抱えていました。

船場は「岐阜公園官民連携にぎわい創出事業」に参画し、来訪者への“おもてなし”の強化と地域住民の“シビックプライドの醸成”を両立させた公園計画を提案。1947 年の創業より培った賑わいづくりのノウハウを活かし、交流から商いが始まるかつての「楽市楽座」を蘇らせ、コミュニケーションのうまれる滞在型観光拠点へと転換。



自然豊かで開放的なロケーションを最大限に活かし、各所に交流できる空間を創出したほか、人が集まり滞在できる店舗 MD を計画。観光客のみならず近隣住民の居場所となり、まちのランドマークとなる場を創り上げることで、地域の経済・観光面での起爆剤となることを目指しました。

リニューアル前の岐阜公園の様子



リニューアル後の岐阜公園の様子



賑わう店舗と自然豊かな庭園、心地よい水辺が調和する中央部に開放的な芝生広場を設置

■歴史資源や自然への展望と商業が調和した景観を実現



古来より交通の要衝として発展してきた歴史をつなぐため、園路を中心とした平屋木造建築物の分散配置を行い、通りに賑わいが溢れる戦国時代の城下町の情景を再現。また、岐阜城や三重塔、金華山など歴史資源への眺望と商業が調和した景観を形成することで、観光資源の価値を向上し、シビックプライドの醸成に寄与する場を創出しました。

さらに、岐阜県産材の板張り壁や、地元企業の暖簾・店頭幕によるサインデザインを施すことで、地域の資源・文化を活用した「歴史・文化との調和」や「岐阜らしさ」のある商環境を演出しました。



■ 岐阜城楽市（ぎふじょうらくいち）とは



本施設は、国内外の観光客や地域住民の方々の観光・周遊の拠点でありながら、豊かな日常を彩る賑わいの拠点となる施設を目指して4/26（土）にグランドオープンしました。7棟の木造平屋建ての建物に、食べ歩きも楽しめる岐阜の地域食材を使ったお店、地元の文化を感じられるお店等、地域の良さを感じられる11店舗を誘致し、賑わいを創出します。

公式 HP : <https://meitetsu-pm.co.jp/gifujo-rakuichi/>

船場は、名古屋鉄道が代表法人を務め、岐阜市との間で締結した「岐阜公園官民連携にぎわい創出事業」の事業者グループに構成法人として参画し、総合コンサルティング・ディレクション、マスタープラン・デザインクライテリア作成、デザイン監修、内装監理、サイン計画・施工を担当しました。

船場はこれまで「南池袋公園」「鳥居崎海浜公園」などの公園活性化事業（PARK PFI制度を含む）にて、コンサルティング、マスタープラン、環境デザイン・ランドスケープ設計などを手掛け、公園内の商業機能強化や、公園環境の改善を行ってきました。今後も、交流や賑わいを生み出す仕掛けづくりを行い、地域の活性化と公共空間の価値向上に貢献します。

■船場について

商業施設をはじめオフィスや教育、ヘルスケア、余暇施設等のさまざまな空間づくりにおいて、調査・企画・デザイン・設計・施工・メンテナンスまでをトータルでサポートしています。2021年よりビジョンに「Good Ethical Company」、ミッションに「未来にやさしい空間を」を掲げています。人や地域社会、自然環境へ“おもいやり”の視点を持ち、サプライチェーン全体で未来にやさしい空間の共創を目指すエシカルデザインを推進しています。

社 名：株式会社船場 カブシキガイシャ センバ

所 在 地：東京都港区芝浦 1 - 2 - 3 シーバンス S 館 9 階

上 場：東京証券取引所スタンダード市場（コード番号：6540）

主な実績：サントリー天然水 北アルプス信濃の森工場（設計・施工） / ISUMI Glamping Resort & Spa SOLAS（マスタープラン・設計・施工） / Tokyo シェアオフィス 墨田（プロダクション・設計・施工） / 三井ショッピングパーク ららぽーと門真・三井アウトレットパーク 大阪門真（調査企画・マスタープラン・設計・環境デザイン・施工）

※本プレスリリースに掲載されている内容は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

本リリースに関するお問い合わせ先
株式会社船場 PR 事務局（株式会社サニーサイドアップ内）
担当：飯島（080-9464-4021）、蜂須賀（080-4069-0740）
TEL：03-6894-6895 E-mail：semba_pr@ssu.co.jp